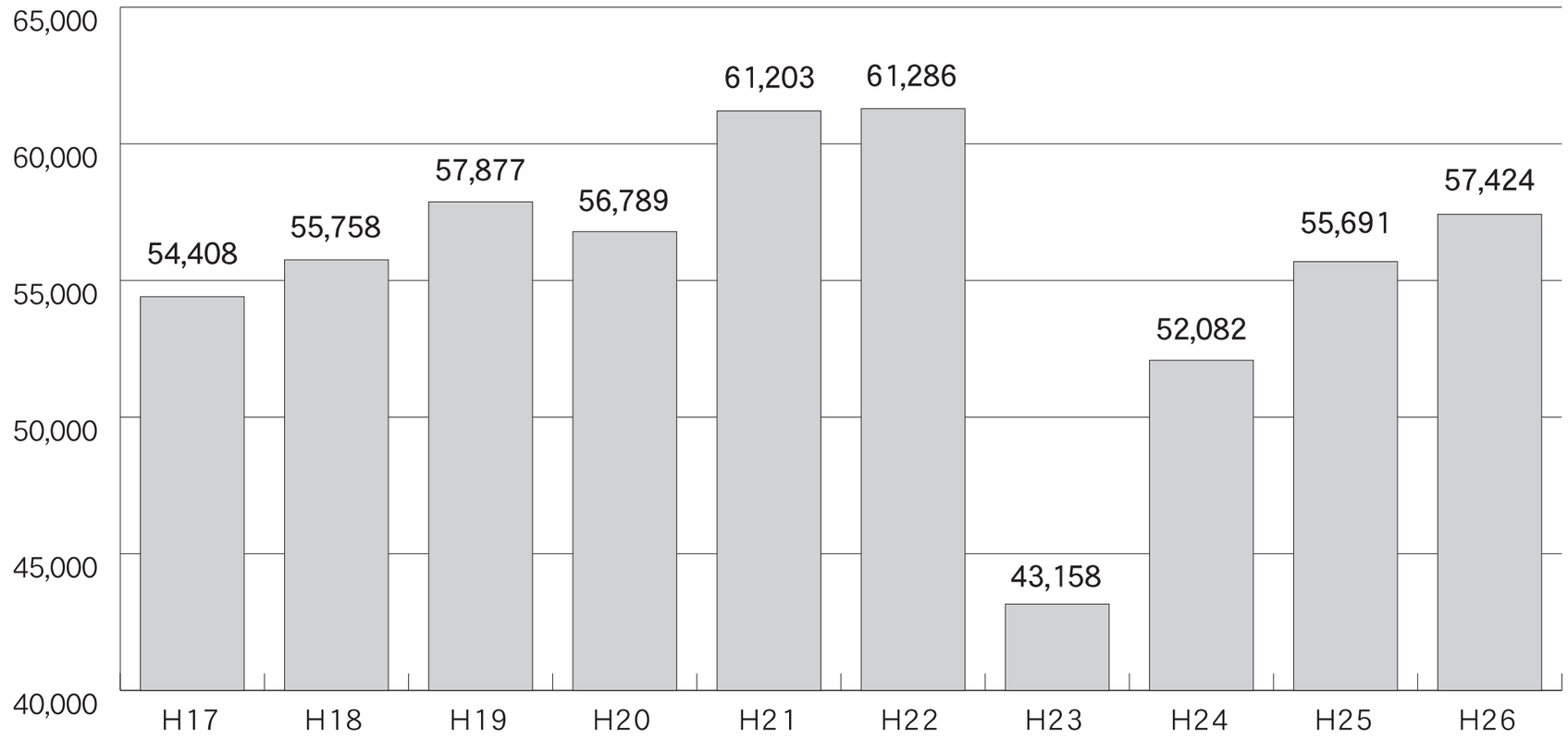
観光入り込み数、前年比3.1%増加

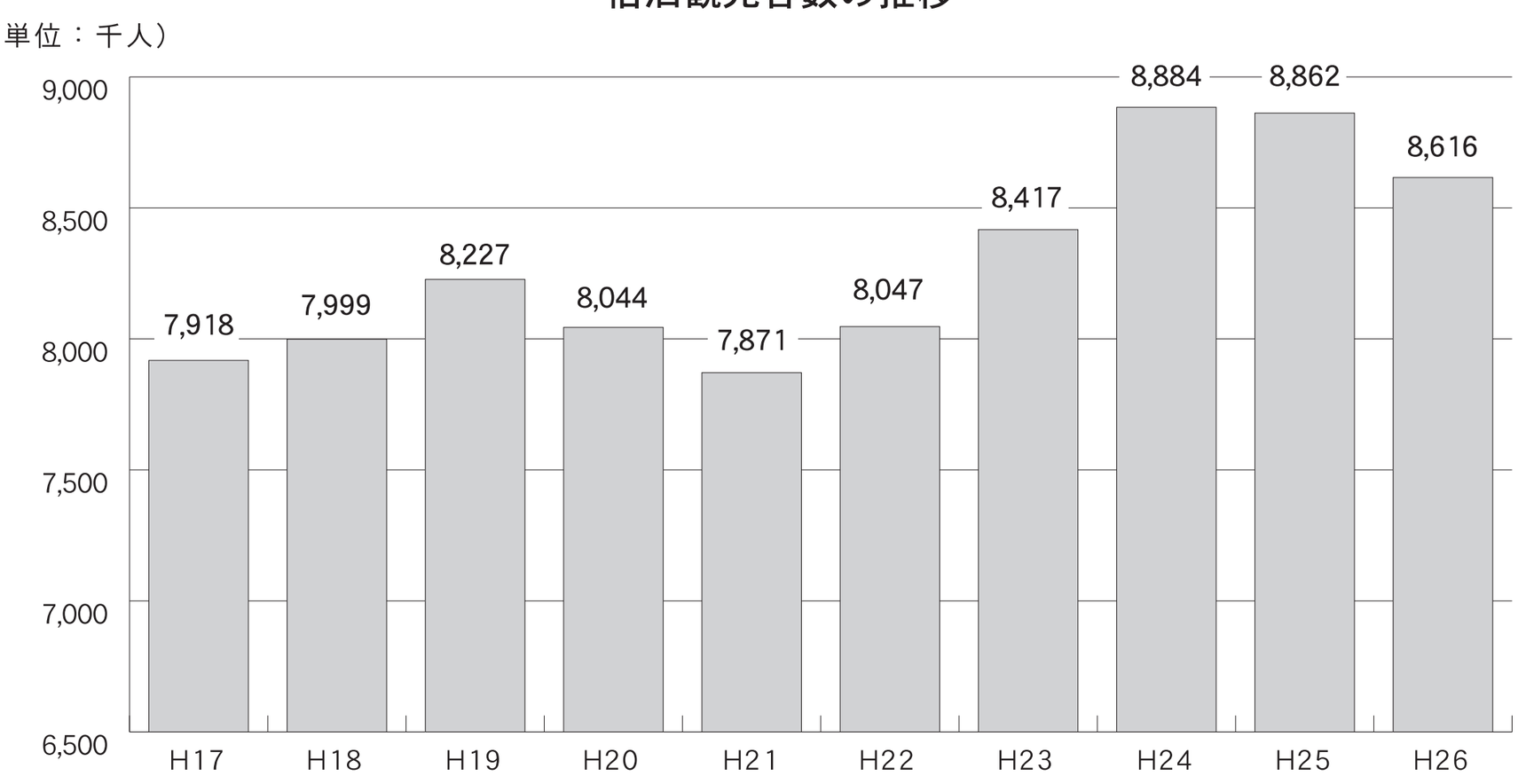
平成26年　宮城県の観光統計概要（県経済商工観光部観光課まとめ）

宿泊観光客数は24年ピークに減少傾向

年次別観光客入り込み数の推移



宿泊観光客数の推移



年次別宿泊観光客入り込み数の推移

（単位：人）

圏域	地区	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	前年比	構成比
仙南	蔵王	557,179	607,881	652,364	606,794	586,654	96.7%	6.8%
	小計	606,582	672,691	765,392	675,928	665,735	98.5%	7.7%
仙台	旧仙台市	3,357,592	3,942,092	4,114,047	4,162,217	3,855,852	92.6%	44.8%
	松島	744,949	936,451	696,559	703,802	667,624	94.9%	7.7%
	小計	5,649,457	6,438,893	6,592,827	6,667,111	6,383,479	95.7%	74.1%
大崎	鳴子温泉郷	734,900	684,800	719,900	597,500	547,800	91.7%	6.4%
	小計	926,514	962,781	1,009,737	870,998	878,779	100.9%	10.2%
栗原	全域	86,809	59,761	102,079	113,615	110,820	97.5%	1.3%
登米	全域	25,594	21,690	31,591	25,989	52,310	201.3%	0.6%
石巻	全域	311,269	45,414	84,055	174,797	184,459	105.5%	2.1%
気仙沼	気仙沼・唐桑半島	203,287	39,025	93,252	148,762	141,739	95.3%	1.6%
	南三陸海岸	237,629	176,449	205,292	184,531	198,549	107.6%	2.3%
	小計	440,916	215,474	298,544	333,293	340,288	102.1%	3.9%
合計		8,047,141	8,416,704	8,884,225	8,861,731	8,615,870	97.2%	100.0%

桜のイベントなど好調

宮城県経済商工観光部観光課によると、同県の平成26年（1～12月）の観光客入り込み数は5742万4千人で、前年比3・1%増加（173万4千人増）した。東日本大震災前の平成22年に比べると386万1千人少ない水準（6・3%減）にあるが、23～25年からは着実に回復している。

県では観光客入り込み数が増えた要因として、桜をめぐるイベントが好調だったことや、テレビなどを活用した情報発信による誘客効果、観光集客施設の開業・再開などを挙げている。

7の圏域別では、仙南が同5・9%増の35万6千人。桜をめぐるイベントが好調で、柴田町の船岡城址公園などの観光客が増加した。仙台圏域は同3・6%増の3269万6千人。仙台市の秋保ヴィレッジの開業や、震災以降中止していたイベントの再開で、22年比でも97・1%（2・9%減）まで回復している。

震災で甚大な被害を受けた石巻圏域は同1・0%増の282万8千人。気仙沼圏域は同5・4%増の200万3千人。ただ、22年比でそれぞれ63・8%（36・2%減）、55・3%（44・7%減）の回復にとどまり、ほかの圏域と回復状況に差が見られる。

県全体の宿泊観光客数は861万6千人で、同2・8%減少（24万6千人減）した。震災前の22年との比較では、7・1%増加している。

「全体の傾向としては、復旧・復興関連需要の影響が大きかった24年をピークに、徐々に減少傾向にある」（同県）。

調査データ